



< 講師略歴 >

新堀 聰 (にいぼり・さとし)

財団法人 貿易奨励会専務理事 国際商取引学会顧問・商学博士

専門：英米契約法、国際統一売買法、貿易商務論

【プロフィール】

1958年、東京大学法学部第1類（私法コース）卒業。三井物産に入社。

米国三井物産ニューヨーク本店副社長兼鉄鋼第二課長、米国三井物産上級副社長兼サンフランシスコ支店長、調査部長、調査情報部長、三井物産貿易経済研究所代表取締役社長兼研究所長などを歴任。ニューヨーク在勤中の1975年ハーバード大学経営大学院（ビジネス・スクール）において Program for Management Development 修了（PMD 第30期）。1993年には、早稲田大学から商学博士の学位を授与された。

1993年日本大学教授に就任、同大学商学部および大学院商学研究科において2004年6月まで貿易論を担当した。その後も2009年3月まで同大学院商学研究科において客員教授として貿易論を講じた。

1998年には、国際商業会議所（ICC）取引条件作業部会委員（日本代表）として、パリで行われたインコタームズ2000の起草作業に参画した。

現在は、1927年に三井物産の初代社長益田孝が設立した財団法人貿易奨励会の専務理事として、海外からの留学生の支援活動を行なっている。

【主な著書】

『アメリカ商取引法』（同文館、1963年）

『貿易売買入門』（同文館、1966年）

『国際統一売買法』（同文館、1991年）

『ビジネスゼミナール 貿易取引入門』（日本経済新聞社、1992年）

『貿易政策と国際売買』（同文館、1996年）

『21世紀の貿易政策』（同文館、1997年）

『実践・貿易取引』（日本経済新聞社、1998年）

『現代 貿易売買－最新の理論と今後の展望』（同文館、2001年）

『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』（同文館、2002年）

『ウィーン売買条約と貿易契約』（同文館、2009年） その他、論文多数。

【学会活動】

1961年、日本貿易学会発足時の発起人の一人で、理事を2期、8年にわたり務めた。

1998年には、国際商取引学会の創設に参画、2001年まで初代会長を務めた。

現在は顧問。

以上